

## 地球學團を設けて地學愛好者の贊同を期待す

「地球」編纂同人は茲に地球學團を設けやうとする。「地球」の購讀者は出來得べくば投稿執筆者でありたい。各自の研究を容易にし且地學を民衆化するには學團を作ることが捷徑である。我等の「地球」は特種のもの、機關でありたくない。民衆の「地球」でありたい。我等の「地球」は一般地學愛好者によつて生まれ、養育はぐくまれ、成人して欲しい。地學が隆昌に向ふべき機運で芽生えた「地球」が春光と共に延びて行くには一般購讀者の手で培はれることを要する。

それで發行所に對して一箇年の豫約購讀を既に申込みれ又は今後申込みれる方は地球學團に加入されんことを期望する。我學團は漸次月刊誌發刊の外に單行本の出版や、講演會や、地方見學を企畫して居る。團員は別に月々の會費を出すことを要しないで之等企畫の實現に際して幾多の便宜を獲るのは無論のことである。

加團を望まれる方は京都帝國大學理學部地質學教室内地球學團へ申込みたい。團員となつても購讀料は發賣元（京都市下京區西洞院七條南、内外出版株式會社、攝子口座穴阪三九三一番）に送つて欲しい。「地球」はそこから發送される。そして學團「地球」編纂に關する要務のみ直接に扱ふことになつてゐる。

## 發刊の辭

地球は地理學地質學其の他の地球を對象として研究する自然科學の範圍に屬する論文報告新著の掲載紹介は勿論、日本東亞環太平洋、全地球表面に起る地文人文に涉る問題に關して成るべく方面趣味を取捨しないで報道する機關ごしたい積で發刊した。眇たる小冊子が果して此の如き目的を實現し得るか、編輯者自身に於ても敢て確信を有せぬのであるが、幸に本誌讀者諸位の協力に藉つて讀者諸位の幾分でも満足し得るものに發達させて見たい。これは本誌の讀者各位に向て編輯者の希望してやまぬ所である。

大正十三年一月

小川 琢治  
石橋 五郎  
中村 新太郎